

北海道 第一弾:社会実験先遣隊 編

日程

2022年3月28日～3月30日

目的

北海道・茨城県の生産人口向上を構想する「ボールパークを起点とした関係醸成型の教育旅行」のプログラム実証実験として、茨城県と北海道の高校生・大学生が、様々な協働体験による心・知・体の交流を実施し、下記2点を見出すこと。

- ① お互いがお互いの価値やまちの価値等を相対的に見つめ直す
- ② 学生日線で新しいプログラムを企画提案する

開催地

北広島市・江別市・札幌市

参加者

【茨城県】13名

- ▶ 大学生11名(茨城大, 筑波大&院, 武蔵野学院大, 早稲田大)
- ▶ 社会人2名(牛久市職員)

【北海道】24名

- ▶ 高校生15名(北広島高, 札幌藻岩高)
- ▶ 大学生8名(北海道教育大, 北海道大大学院, 藤女子大学)
- ▶ 社会人1名(公立学校教諭)

成果

～参加者の自分に対する気づき～

Before

R.Tさん

すぐに懐に入っていくタイプではなかった。
相手の人が嫌だったらどうしようと予防線を張っていた。自分を守るようなコミュニケーションは、保育園・小学校低学年くらいから意識はある。

M.Kさん

バイト先で解決したい課題があるが、自分で考えて調べて結論を出す、自分の中で完結していく独りよがりだった。

体験

自分からいかないと楽しくないから、リスクは二の次だと考えた。しゃべってみたいと思った人としゃべってみた。その人と最終日終わった後食事にも行った。

ワイワイ話しながらロゲイニングをやり、それをワークショップに持ち込み話し合う環境の中でいろんな視点を聞けた。話したことがない人にも歩み寄ろうとした。専門的に知っている方にアドバイスをもらった。

After

今までセーブしていたことに気付いた。自分から積極的に話さないといけない、というのが嫌ではなかった。人脈を広げられたのがいちばんの成果。

自分一人で抱え込むのではなく、人からの意見を聞くようになった。自分から話しかけにいくようになった。両親やバイト先の上司からも旅行について変わった(積極的に自分から動くようになった)と言われた。

実施スケジュール

午前

1日目:3/28@江別

アクティビティ
(アイスブレイク)



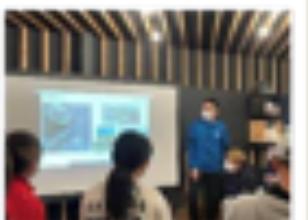
酪農体験
@酪農学園大学



街散策@江別
(商店)



夕食づくり
ミートアップ
@ゲストハウス



ワークショップ
@ゲストハウス

2日目:3/29@北広島

ビジターセンター
訪問



ロゲイニング



ワークショップ
@北広島市役所

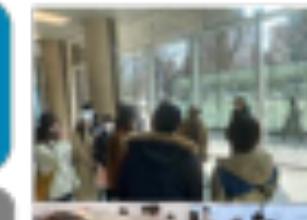


ミートアップ
@札幌ビール園



3日目:3/30@札幌

街散策@札幌
(道内村近、商業施設、駅周辺)



ワークショップ
@北海道教育大
サテライト



まとめMTG
@北海道教育大
サテライト



～「ロゲイニング」を活用した教育プログラムの有用性～

＜ロゲイニングとは＞

2～3人のチームを組み、町の地図に示されたポイントを制限時間の範囲内で回り、総得点を競うオリンピックの競技。地域の名所やお店がポイントでそこで写真を撮ることで通過証明となる。

F HOKKAIDO
BALLPARK
F.VILLAGE

+周辺地域

×

ロゲイニング

×

グループ
ワーク

学校のグループワークでは、個々が各自で調べてきたものを出し合うだけのディスカッション=頭だけの協働作業が多い現状。

「ロゲイニング」を活用することで身体を使った共通の体験がベースとなるため、グループワークでの創造性・創発性が促進される。

北海道 第二弾:文武両道場 編

日程

2022年7月29日～8月1日

目的

北海道・茨城県の生産人口向上を構想する「ボールパークを起点とした関係醸成型の教育旅行」のプログラム実証実験として、茨城県と北海道の高校生・大学生が、様々な協働体験による心・知・体の交流を実施し、下記2点を見出すこと。

- ① お互いがお互いの価値やまちの価値等を相対的に見つめ直す
- ② 学生目線で新しいプログラムを企画提案する

開催地

北広島市・江別市

参加者

【茨城県】4名／【岩手県】1名

- ▶ 高校生4名(水海道第二高)
- ▶ 大学生1名(盛岡大)

【北海道】48名

- ▶ 高校生48名(北広島高,とわの森三愛高,札幌藻岩高,立命館慶祥高)

成果

～バレー通した自分に対する気づき～

水海道二高1年生

これまで「自分らしさとは何か?」と考えていたが、あまり見出せていなかった。

嫌なことがあると、ずっと1人で悩んで落ち込んでいることが多かった。

当時のモチベーションや自分の感情・行動・思考について、いろいろな観点からワークシートに書き出した。そうしたことでも自分を客観的に見ることができた。

自分は好きなことになると、集中して探求していく性格だと発見した。

深く考え過ぎず、ポジティブな考え方になるように切り替えるようになった。

実施スケジュール



バレー通して自分を知る2日間

7/29(金)～30(土)
北広島市

午前

チーム結成
MTG・練習
北広島市総合体育馆



午後

バレー競技会
(1日目予選・2日目本戦)
北広島市総合体育馆



夕方

振り返り
北広島市総合体育馆
★1日目
ファイターズ芦井氏講演



文武両道場

北海道を通じて自分を知る2日間

7/31(日)
江別市

自分の「まち」プレゼン
トンデンファーム



BBQ & グラスバレー
野幌森林公園
キャンプ場



8/1(月)
北広島市

ボールパーク訪問

ワークショップ・まとめ
北広島市役所



参加前

体験

参加後

～北海道を通した自分に対する気づき～

小さい子供と接するのは苦手だったが、ドッジボールで夢中になって本気で一緒に遊んでいるうちに楽しくなった。
真面目に考えて動くのも大事だが、笑ってすごす時間も大事。

マルシェで子どもたちを楽しませる企画をしているとき、楽しそうないきいきとした表情が全員からあふれた。あの表情はバレーでは見ることはできない。

様々な人の人生観を聞いて、いろいろな生き方があると知り、視野が広がった。大学に行った方がいいと言われていたが、そうでなくてもいいんだと思った。

～北海道を通した自分の「まち」に対する気づき～

ワークショップで、北海道の子たちからは、ハードや場所の話は出てくるけど、ソフト(人)に特化するものは出てこなかった。自分のまち(岩手県紫波町)で体験した「人」の魅力を伝えて、それを企画案に盛り込みたかったが、あまりにも言語化できず伝わらなかった。建物など目に見えるものしか伝えることは無理なのかと思ってしまった。

身近にボールパークは見ていたが、知らないことが多いと感じた。もともとは田舎だと思っていたが、商業施設などいろんな店ができるなら、北広島にもう少しいてもいいかなと思った。

北海道も茨城県も同じようにたくさんのいい自然がある。
北海道は観光目線で人が来てもらえるように良さを引き出している。
茨城県は控えめでアピールしていない。

北海道 第三弾:札幌ドームチャレンジツアー 編

日程

2022年9月23日~9月25日

目的

老若男女、初心者/玄人等立場の違う人々が、茨城県と北海道から札幌ドームに集結してダンスパフォーマンスを披露する「非日常体験」を通して、下記3点を促進すること。

- ① 参加者のまだ見ぬ成長への探求
- ② 北海道と茨城県の新しい文化醸成
- ③ 身体パフォーマンスの振興

また、ファイターズと茨城県南西7市連携協議会のパートナーシップ協定に華を添え、新しい未来への弾みの第一歩とすること。

開催地

札幌市

参加者

【茨城県】26名

- 高校生5名(取手第二高, 牛久高, 酒田南高, 東京都立中央ろう学校 他)
- 大学生・専門学生7名
- 社会人14名(市職員,自営業,会社員,ダンス講師 他)

【北海道】36名

- 高校生・大学生・社会人36名

成果

~参加者の自分に対する気づき~

茨城・20代男性

総じて自分はどんな人?

自分とは、①人前ではあまり本当の自分自身を曝け出さることはなく、悩みがあってもあまり人には打ち明かれない人間であることがわかった。また、②口では色々というが、挑戦したことがないことをやるとビビるという人間であることがわかった。

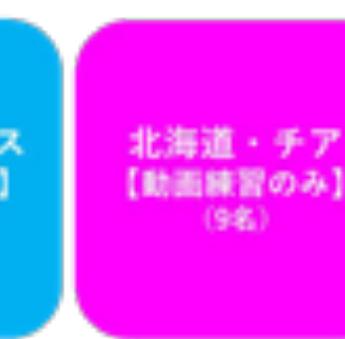
我慢していたこと、封印していた能力は?
・踊ることが恥ずかしいと思っている中で、恥ずかしさを人前で出さないようにしていた。

開放したこと、発揮していた能力は?
・一度やると決めたら、どんな形になろうがやり切る。
・人前よりも、人のいなないとこで練習をやっていた。

新たにとった行動、新発見した能力は?
・スポーツを通じた仲間づくり、新たな人間関係を構築するために、積極的に参加者とコミュニケーションをとった。
・思っていたよりも、ビビりで小心者であることがわかった。

実施スケジュール

会場別練習



前日合同練習

当日



~北海道×茨城県 新たなビジネスモデルの第一歩~

HOKKAIDO
BALLPARK
F.VILLAGE

老若男女不問！ 技術レベル不問！
多種多様なコミュニティが集まる
プラットフォームに！



ファイターズ × 茨城県南西7市連携協議会
パートナー協定締結



ファイターズ職員 × 北広島市職員 × 茨城7市職員
勉強会

